

推進計画とSDGsとの関わり

スリム 3R夢のはじまり

ヨコハマスリム3R夢プランは、大幅なごみの減量を達成したG30プランに続く計画として、2011年1月にスタートしました。リサイクルにリデュース、リユースを加えた「3R」に取り組むことで、さらなるごみの減量と脱温暖化を進め、横浜の豊かな環境を後世に引き継いでいくこと、それがヨコハマスリム3R夢プランの大きなテーマです。

スリム 3R夢の広がり

ヨコハマスリム3R夢プランも策定から8年が経過しました。分別ルールは一定程度定着し、ごみの量も、微減ではあるものの、削減傾向が続いています。

一方、高齢化の一層の進展、人口減少社会の到来とともに、全国各地で頻繁に発生している大規模災害、さらには経済の活性化など、社会を取り巻く状況が大きく変化しています。

こうした中で、廃棄物分野においても、公民連携で取り組む場面が増えるとともに、福祉や地域など、様々なつながりを持って進めていく事業が増えてきました。

SDGsという大きなミッション

そして、2015年には国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、世界共通の大きなミッションが示されました。

SDGsは、将来にわたり、あらゆる人が、社会、経済、環境、すべての面での豊かさを受けられる、持続可能な世界を目指しています。ヨコハマスリム3R夢プランも、さらなる環境負荷の低減を図るとともに、市民の皆様のニーズを踏まえたきめ細かな取組や、経済活性化につながる取組を進めることで、持続可能なまちを実現することを目指しています。その意味で、「ヨコハマスリム3R夢プランとSDGsはつながっている」ということができます。

一つひとつの積み重ねが大切

持続可能な社会の実現は、一朝一夕になしえることではありません。だからこそ、私たち一人ひとりが、そこに思いを馳せ、一つひとつ、取組を積み重ねていくことが大切であり、それが大きな推進力となっていきます。

ヨコハマスリム3R夢プランも、SDGsの目指す、多くの課題の統合的解決に向けて、様々な分野との連携のもと、進めていきます。

SDGs

スリム
3R夢プラン

持続可能な開発

横浜らしい循環型社会

5つの「つながる」プロジェクト

福祉とつながる



地域とつながる



安心につながる災害対策



活力につながる公民連携



未来につながる循環インフラ



9つの推進政策

3R行動に向けた環境学習・プロモーションの推進



安全・安心と市民サービスの向上



食品ロスの削減



まちの美化



リサイクルの推進



地球温暖化対策・エネルギーマネジメント



持続可能なストックマネジメント



国際展開・技術開発の推進



適正処理の推進



SDGsを意識するために、「5つのつながるプロジェクト」と「9つの推進政策」におけるSDGsの17の目標との主な関連性を示しました

推進計画の位置づけ

推進計画は、2025年度までを見通した長期的な計画である「横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ3R夢プラン）」（2011年1月策定）を進めるため、2018年度～2021年度に取り組む施策を示した計画です。

基本計画に盛り込まれているごみ処理施策の基本理念や計画目標、基本方針等を踏まえ、具体的施策を確実に推進していくことを目的としています。

本推進計画に基づき、市民・事業者の皆様とともに、目標の達成に向けて具体的政策に取り組みます。

	2010年度	2014年度	2018年度	2025年度
基本計画	横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ3R夢プラン）（16年間）			
推進計画	推進計画 （4年間）	推進計画 （4年間）	推進計画 （4年間）	
ごみと資源	▲5%：達成		▲3%	16年間で ごみと資源▲10%
温室効果ガス	▲25%：未達		▲25%	温室効果ガス▲50%



横浜市資源循環局 2018年10月発行

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

TEL 045-671-2503

FAX 045-641-1807

MAIL sj-seisaku@city.yokohama.jp